



# 小中一貫教育推進室だより

色麻町教育委員会 教育総務課 小中一貫教育推進室 65-2111 (有線 2040)



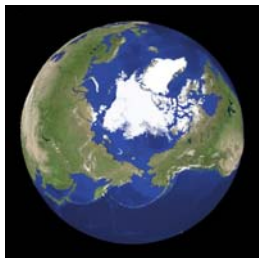
## 小中一貫教育のメリット・デメリット

節分も過ぎ、そろそろ春の気配が感じられて  
もしい頃ですが、今シーズンは2度も大雪に見  
舞われ、「雪はもう  
たくさんだ!」と思  
われた方も、少なく  
ないのではないでし  
ょうか。



しかし日本海側では、この何倍もの降雪があ  
るということで、雪かきや防寒対策を考えただ  
けでも、本当に頭が下がる思いです。

同じ時期に、ポーランドでは30年ぶりに、  
アメリカのワシントンでは88年ぶりの大雪に  
見舞われ、交通麻痺や停電などの被害をもたら  
したというニュースもあります。これは一体何  
が原因なのでしょう、一説には、地球温暖化  
によるもので、北極海の海氷がここ40年間で



日本の国土面積の3倍も減  
少しているため、寒気が下  
降して来ているからではな  
いかということですが、真  
相はどうでしょうか。

さて、前置きが長くなりましたが、今回は小  
中一貫教育のメリット、デメリットについてま  
とめてみたいと思います。

教育活動のほとんどは、すぐに結果が出るも  
のではありません。ある程度の期間が経過して  
初めて、成果や課題が明確になって来る場合が  
ほとんどです。たとえば、学力や運動能力にし  
ても、最低3年くらいはかかるのが普通です。

よって、長い目で変容を捉えていただければ  
幸いです。



まず、メリットについては、先進校の  
取組例などを参考にすると、一般に以下  
のようなことが言えるようです。

- ①中1 ギャップや不登校の  
解消や減少につながる
- ②学力向上が期待できる
- ③小学校→中学校へのスムーズな接続が可能
- ④学習や生徒指導において、小・中の教師が連  
携して組織的に進めることが可能
- ⑤9年間の系統的・継続的な一貫した教育が可能



逆に、デメリットと言えるのは、

- ①9年間一緒なので変化に乏しく、中だるみし  
やすいのではないかと心配
- ②小学校→中学校の移行の時期に、小学校最高  
学年という意識を持つての活躍や、心機一転・  
奮起などの機会が失われるのではという心配
- ③小1～中3という体格・知力差が大きい子ど  
も達を一緒に生活させることへの不安
- ④小学校跡地活用の問題
- ⑤小・中学校独自の行事の  
実施時期の調整や実施の仕方が難しい(学校現場の声)



・・・などが主なものでした。



&



&



これらの課題をしっかりと踏まえ、それぞれの  
解決方策等も考えながら、計画づくりを行っ  
ていくことが大切だと考えます。